武蔵野市のコミュニティセンターの施設利用特性に関する考察

— 2008年・2018年施設利用調査の比較分析 —

UTILIZATION ANALYSIS OF THE COMMUNITY CENTERS IN MUSASHINO CITY

— Comparative analysis of facility use surveys in 2008 and 2018 —

入江美晴 — *1 安井基浩 — *2
竹宮健司 — *3

Miharu IRIE — *1 Motohiro YASUI — *2
Kenji TAKEMIYA — *3

キーワード：
コミュニティセンター, 比較分析, 利用実態

Keywords:
Community centers, Comparative analysis, Actual usage

This study aimed to grasp at the actual usage of the community centers through comparison between 2008 and 2018 in Musashino city. We analyzed by the following three aspects.

1. We collected material data and conducted interviews to make clear the activity situation and policy of the centers.
2. We made a questionnaire survey of the visitors at the centers throughout the day.
3. We conducted observation survey, and analyzed the actual usage at the free space and lobby.

1. 研究の背景と目的

1-1. 研究の背景

人口の高齢少子化、余暇・自由時間の増大などの社会的な背景の変化に伴って、地域コミュニティの活動内容は多様化し、コミュニティ活動を支える地域集会施設等に求められる役割も変化してきている。

戦後日本の地域コミュニティの中で公民館は基幹施設として機能してきたが^{注1)}、社会構造の変化から類似の集会施設が整備されるようになった^{注2)}。建築計画分野では、こうした集会施設に関する数多くの研究成果を基に建築計画指針が示されてきた^{注3)}。

日本建築学会計画系論文集に掲載されている研究成果では、田中ら⁷⁾の利用実態と活動展開について調査を行っているものや、張ら⁸⁾の利用意識に関する研究があるが、どちらも対象者は高齢者となっており、利用特性を見る上では限定的な結果となっている。勝又ら⁹⁾の研究では、公民館建築におけるロビー空間の必要性を示しているが、調査はロビー空間の写真から備品・空間と行為・機能を分析しており、施設の利用実態把握を元にした検討はなされていない。

コミュニティの活動を支援する施設の計画には、既往の研究を踏まえつつも、コミュニティ活動の変化やそれに伴うコミュニティセンター（以下コミセンとする）の利用変化を常に的確に捉える研究が求められていると考える^{注4)}。

1-2. 研究の目的

著者らは、住民主体のコミュニティ活動を推進してきた武蔵野市のコミセンの活動状況に着目し、利用状況を詳細に把握するための実態調査^{10) 11)}を継続的に行ってきた。

表1 調査概要

	方法	対象	調査日	
資料収集	コミセン資料の収集	武蔵野市役所	2008. 5. 15~6. 30	2018. 9. 1~9. 30
ヒアリング調査	武蔵野市コミセンに訪問し聞き取り調査	全16協議会代表者	2008. 8. 5~8. 29	2018. 10. 16~11. 09
アンケート調査	来館した利用者全員にアンケートを配布し、退館時に回収	西部コミセン	2008. 10. 23(木)	2018. 12. 14(金)
			2008. 10. 25(土)	2018. 12. 16(日)
		けやきコミセン	2008. 10. 30(木)	2018. 12. 20(木)
			2008. 11. 2(日)	2018. 12. 22(土)
観察調査	館内F. S. を15分おきに平面図上に記録	同上	2008. 10. 22(水)	2018. 12. 23(日)
			2008. 10. 26(日)	2018. 12. 26(水)

表2 施設概要

名称	境南	西久保	吉祥寺東	吉祥寺北	本町	関前	御殿山	中央
設立年	1976	1977	1978	1979	1979	1981	1982	1982
所在地	境南町	西久保	吉祥寺東町	吉祥寺北町	吉祥寺本町	関前	御殿山	中町
延床面積 (㎡)	1633	1434	260	1403	507	783	602	1358
階層	3	3	1	3	3	2	2	3

名称	桜堤	吉祥寺南町	緑町	西部	吉祥寺西	けやき	本宿	八幡町
設立年	1982	1983	1986	1987	1989	1989	1992	1980(2012移転)
所在地	桜堤	吉祥寺南町	緑町	境	吉祥寺本町	吉祥寺北町	吉祥寺東町	八幡町
延床面積 (㎡)	353	1482	544	1500	912	576	720	554
階層	2	3	2	4	3	2	2	2

表3 アンケート調査概要

対象	調査日	調査時間	配布枚数	回収枚数	有効回答
(1)西部	2008. 10. 23(木) 10. 25(土) 2018. 12. 14(金) 12. 16(日)	9:30~21:30	85	76(89%)	76(100%)
			160	146(91%)	146(100%)
			146	140(96%)	140(100%)
			96	92(96%)	92(100%)
(2)けやき	2008. 10. 30(木) 11. 2(日) 2018. 12. 20(木) 12. 22(土)	9:30~21:30	80	74(93%)	74(100%)
			126	120(95%)	120(100%)
			63	60(95%)	60(100%)
			125	121(97%)	121(100%)
(3)吉祥寺北	2008. 10. 22(水) 10. 26(日) 2018. 12. 23(日) 12. 26(水)	9:00~21:00	159	147(92%)	147(100%)
			209	179(86%)	179(100%)
			103	101(98%)	101(100%)
			80	78(97%)	77(99%)

¹⁾ 東京都立大学大学院都市環境科学研究科 建築学域 大学院生・学士(工学) (〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1)

²⁾ 元首都大学東京大学院都市環境科学研究科 修士(工学)

³⁾ 東京都立大学大学院都市環境科学研究科 教授・博士(工学)

¹⁾ Graduate Student, Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan Univ., B. Eng.

²⁾ Former Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan Univ., M. Eng.

³⁾ Prof., Graduate School of Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan Univ., Dr. Eng.

そこで本研究では、2008 年と 2018 年に実施した同じ調査手法による調査結果の比較から、同市のコミセンの利用実態とその変化を明らかにすることを目的とする。具体的には以下の 3 つの課題を設定した。

- 1) 武蔵野市コミセンの活動状況・活動方針等を把握する。
- 2) 利用者の属性・利用室・活動内容等を把握する。
- 3) 予約なしで利用できる室・ロビー等の利用実態を把握する。

1-3. 調査方法

2008 年と 2018 年の調査概要を表 1 に、施設概要を表 2 に示す。

1) 資料収集調査・ヒアリング調査

武蔵野市役所に保管されている資料の収集を行い、来歴を整理した。その後、武蔵野市全 16 館（分館を除く）に訪問し、代表者に 1 時間から 2 時間半ほどのヒアリング調査を行い管理・運営側からみた使われ方の変化・現状を把握した。

2) アンケート調査

調査概要を表 3 に、対象施設の概要を図 1 に示す。

吉祥寺北、西部、けやきの 3 館を対象とし、各館平日休日各 1 日開館から閉館までの計 12 時間行った。小学生以上の利用者全員を対象とし来館時に配布、退館時に回収し、タイムスタンプにて入館時刻と退館時刻を記録した。利用者の属性や利用特性を分析した。

3) 観察調査

アンケート調査と並行して行い、15 分おきに予約が必要の無い室（フリースペース（以下 F.S.））を周り、利用者の様子を平面図上に記録し、場所ごとの利用特性を把握した。

2. 結果

2-1. ヒアリング調査

今回のヒアリング調査では、8 つの館で和室に机と椅子を設置した結果、利用率が上がるという意見があった。同じく 8 つの館で健康を意識する人が増えたという意見があげられ、ヨガや卓球利用が増加しているとのことであった。この影響で和室をヨガで利用するなど、使用用途にも変化が見られた。

2008 年の調査結果と比較すると、2008 年の結果では高齢者の和室利用が減っているという意見が半数以上の 10 館であげられていたため、和室に関しての変化が大きいことがわかった。

2-2. アンケート調査（吉祥寺北・西部・けやき）

回収率は 2008 年が平均 91%、2018 年が平均 96 % と高い結果になった（表 3）。

(1) 在館者数推移

アンケート調査から分かる在館推移を図 2 に示す。

2008 年の結果を見ると、全体的に休日の方が平日よりも在館者数が多いこと、昼頃に利用者の入れ替わりがあることが確認できた。また、西部と吉祥寺北の夜間利用が約 50 名と目立つ形となった。

2018 年の結果も休日の方が平日よりも在館者数が多いことがわかった。半数以上のグラフで昼頃に利用者が減少しているのに対し、西部の平日は午前から午後にかけて利用者数に変化が見られず、長時間利用が確認できた。また西部とけやきが閉館に近づくにつれて大きく減少し利用者 10 名未満であるのに対し、吉祥寺北は平日休日ともに 10 名を上回り休日に関しては 25 名ほどが利用していることがわかった。

図1 実態調査対象施設概要

2008 年と 2018 年の結果を比較すると、全体的に利用者数が減少していることが確認できた。けやきはグラフの形に変化が見られないが、西部では休日の夜間利用が 50 名から 1 桁台と約 10 分の 1 ほど大きく減少している。吉祥寺北においては 2008 年は山の形がはっきりしており、利用者の入れ替わりが激しいことがわかるが、2018 年はなだらかな形となった。

(2) 利用者類型

次に、利用者の傾向を表すために、5 つのカテゴリー（性別・年齢・一緒に利用した人・活動内容・利用した場所）を用いて数量化Ⅲ類とクラスター分析^{注5)}を行なった（表 4）。

2008 年の結果ではけやきの平日及び休日が 7 つ、西部の平日、吉祥寺北の休日が 8 つ、吉祥寺北の平日が 9 つ、西部の休日が 11 つに分類された。西部は平日休日ともに体育館利用が 25 % と多く利用されていた。けやきはコミュニティルームが平日約 30 % と多く利用されていたが、休日は満遍なく利用されていた。吉祥寺北は平日のロビー利用が約 30%、体育館利用が平日 30%、休日 20 % とロビーと体育館利用が多いことがわかった。

2018 年は西部の平日、けやきの平日及び休日、吉祥寺北の平日が 7 つに、西部の休日、吉祥寺北の休日が 8 つの類型に分類された。2018 年の結果では西部の平日は、全利用者の半数が体育館利用という高い結果になった。けやきは学習室利用が平日 30%、休日 20 % と、他の館が約 10 % であるのに対して多いことがわかった。学習室が 2 つあり、テーブルが大きく座席数も多いことが原因であると考えられる。吉祥寺北は平日のロビー利用が約 50%、休日が 30 % と、他の館に比べロビー利用が多い。

全体的に見て、3 館 12 日間全てにロビー型があることが分かる。2008 年と 2018 年の結果を比較すると、西部の体育館利用が多いことは変わらなかった。けやきは、休日のコミュニティルーム利用者が 10 % ほど増加しているが、ほぼ変わらない結果となった。吉祥寺北は 2008 年は体育館利用が目立っていたが、2018 年の結果では、ロビー型が平日で約 2 倍に増加する変化が見られた。また F.S. の利用割合に着目すると、2008 年が 3 館 6 日間平均して 1 日 47% に対

図2 2008年・2018年の全館時刻別在館者数（平日・休日別）

表4 2008年・2018年の利用者属性・利用特性による利用者類型（平日・休日別）

	西部						けやき						吉祥寺北					
	平日			休日			平日			休日			平日			休日		
2008	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%
	体育室サークル活動中心型	19	25	体育室サークル活動中心型	34	23	サークル活動中心型	30	41	若年層ゲーム中心型	40	33	若年層ロビー中心型	39	27	サークル活動中心型	65	36
	女性和室型	15	20	会議室サークル活動中心型	34	23	コミュニティルーム型	16	22	サークル活動中心型	33	28	女性高齢者体育館イベント中心型	33	22	体育館運動中心型	37	21
	女性中心その他活動型	14	18	その他活動型	24	16	単独学習室型	12	16	単独学習室型	15	13	会議コーナーイベント中心型	30	20	会議コーナーイベント中心型	24	13
	女性サークル活動型	14	18	体育室運動型	18	12	作業室仕事中心型	6	8	コミュニティルーム型	14	12	女性サークル活動型	30	20	若年層ロビー中心型	22	12
	学習室単独型	5	7	男性高齢者中心型	10	7	単独コミュニティルーム型	5	7	和室サークル活動中心型	8	7	地下学習室中心型	13	9	地下学習室その他利用中心型	9	5
	男性高齢者ロビーサークル活動中心型	4	5	学習室単独型	6	4	こどもルーム型	4	5	家族利用型	5	4	女性中心利用型	10	7	単独ロビー・体育館利用型	8	5
	男性高齢者単独ロビー読書型	3	4	女性家族利用中心型	5	3	ギャラリー型	1	1	ホールサークル活動型	5	4	体育館運動中心型	8	5	女性高齢者サークル活動型	9	5
	男性ロビー仕事型	2	3	女性型	4	3							単独中心型	5	3	男性地下会議室中心型	7	4
				男性若年層ロビー型	3	2							和室型	1	1	単独地下学習室型	6	3
			男性高齢者談話型	2	1													
	累積寄与率（5軸） 45.7%			累積寄与率（5軸） 36.2%			累積寄与率（5軸） 49.2%			累積寄与率（5軸） 41.8%			累積寄与率（5軸） 44.1%			累積寄与率（5軸） 35.6%		
2018	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%	類型	人	%
	女性中心サークル活動型	38	27	男性中心サークル活動ロビー併用型	27	29	単独学習室型	16	27	サークル活動ホール型	31	26	若年層ゲームロビー利用型	32	42	男性中心若年層運動型	25	24
	サークル活動体育室型	36	26				その他活動和室型	13	22	単独学習室型	20	16	中年層サークル活動型	18	23	中年層サークル活動型	19	19
	女性中心友人利用体育室型	31	22	男性ゲームロビー型	13	14	若年層ゲーム・飲食コミュニティルーム型	11	18	若年層友人利用型	17	14	女性サークル活動型	18	23	調理室・和室利用型	17	17
	ロビー中心型	14	10	その他活動型	12	13	高年層コミュニティルーム型	9	15	中年層子供利用コミュニティルーム型	17	14	単独学習室型	9	12	男性中心ロビー型	16	16
	その他活動型	11	8	サークル活動和室型	11	12	高年層コミュニティルーム型	9	15	男性中心コミュニティルーム型	13	10	中年層ロビー休憩型	9	12	青年層ロビー型	12	12
	若年層ロビー中心型	7	5	単独利用型	10	11	サークル活動ホール型	7	11	男性中心コミュニティルーム型	13	10	男性和室型	6	8	単独学習室型	7	7
	女性和室型	3	2	体育室・和室利用型	7	8	家族利用こどもルーム型	3	5	女性中心単独利用型	12	9	女性仕事型	2	2	高年層型	3	3
				運動体育室型	7	8	談話談書型	1	2	女性中心サークル活動型	11	9	男性型	1	1	女性和室型	2	2
				単独学習室型	5	5												
	累積寄与率（5軸） 28.4%			累積寄与率（5軸） 33.8%			累積寄与率（5軸） 41.1%			累積寄与率（5軸） 36.7%			累積寄与率（5軸） 47.6%			累積寄与率（5軸） 42.6%		
2008	西部		ロビー		けやき		コミュニティルーム		吉祥寺北		ロビー							
	平日 N=44	休日 N=157	平日 N=64	休日 N=262	平日 N=370	休日 N=317												
2008	単独	8	18	11	7	5	単独	2	3	21	単独	4	16	10	11			
	談話	5	13	17	18	6	談話	51	6	6	談話	60	54	68	43			
	ゲーム						ゲーム	14	158		ゲーム	53						
	勉強						勉強	1			勉強	2	46	3				
	小学生以下	学生	成人	高齢者	小学生以下	学生	成人	高齢者	小学生以下	学生	成人	高齢者	小学生以下	学生	成人	高齢者		
2018	単独	3	1	23	1	12	13	1	6	3	2	1	1	9				
	談話	18	7	43	9	16	35	11	10	67	10	7	10	11	11	1		
	ゲーム			87	38	16	106	14	6		12	38	12	38	72	93		
	勉強			25	6	14	25	6			6	17						
	小学生以下	学生	成人	高齢者	小学生以下	学生	成人	高齢者	小学生以下	学生	成人	高齢者	小学生以下	学生	成人	高齢者		

図3 2008年・2018年のロビー内年齢別・活動内容別延べ利用者数（平日・休日別）（けやきはコミュニティルームをロビーとする）

図3 2008年・2018年のロビー内年齢別・活動内容別延べ利用者数（平日・休日別）（けやきはコミュニティルームをロビーとする）

し、2018 年は 56% と高くなっていることがわかり、貸室よりもロビーや学習室、体育館などの F.S. が多く利用されていることがわかった。また、ヒアリングで和室利用が増加したという意見があげられた、けやき、吉祥寺北を 10 年前と比較すると、実際に和室の利用率が 2% から 15% へと上がっていることが示された。

(3)ロビー内年齢別活動内容

各館のロビー内の延べ利用者数を年齢・活動内容別に集計した結果を図 3 に示す。なお、本稿ではロビーは「活動を限定しない、多様な使われ方が期待される空間」と定義する。

2008 年の結果では、吉祥寺北は平日休日共に全ての年齢層による多様な活動が見られ、全年齢層で談話の活動が多かった。また小学生以下は平日休日共にゲーム活動が多いことがわかったが、休日には学生・成人もゲームを行う様子が多く見られた。西部は平日の利用は全体的に少なく、学生・小学生以下の利用は見られなかった。一方、休日の利用は多く、特に高齢者の利用が目立った。活動内容は談話が多く、平日に比べ複数人での利用の割合が大きくなっていることが確認できた。けやきは平日は全体的に少なめの値であったが、高齢者の勉強など他の館では見られない形態を見せている。一方休日は学生の利用が目立って多く、活動内容はゲーム中心と偏りが見られた。

2018 年の結果を見ると、西部は平日休日共に高齢者利用が多数を占めており、特にゲーム利用が中心となる結果となった。けやきは平日を見ると高齢者の談話利用が多い。一方休日になると学生の利用が目立ち、活動内容は談話、ゲーム、勉強と幅広い。吉祥寺北は平日休日共に小学生以下と成人のゲーム利用が多い結果となった。

2008 年と 2018 年を比較すると、3 館とも大きく違う形となったが、けやきは休日になると学生の利用が高くなるという点は変わっていない。西部はアンケートの配布枚数から全利用者数はほぼ同じであるため、ロビーでの活動数が大きく増えていることがわかった。また、2008 年は談話に偏る形となっているが、2018 年での結果では幅広い活動が行われていることが確認できた。吉祥寺北は 2008 年は談話の活動が多数であったが、2018 年にはゲームの活動が多数となり、利用者も全年齢層から小学生以下と成人が増加する変化が見られた。

2-3. 観察調査（吉祥寺北・西部・けやき）

2-3-1. 西部におけるロビー内活動

多様な利用が見られた西部の使われ方の例を 2008 年を図 4 に示す。2008 年は図 4 に示すように、学習室を利用していた高校生がロビーで休憩をした後外出する様子、ロビーで友人と待ち合わせをし体育室に向かう様子など、ロビーを他の活動のつなぎとして利用するロビー併用型が多く見られた。ロビーでの活動を主目的とするより、他の活動の前後のロビー利用が増加する結果となった。

2018 年を図 5 に示す。サークル活動をする前後にロビーで談話をしたり、休憩をする併用型も見られたが、それよりも貸室を利用せずロビーだけを目的として来館するロビー単体型が増加する結果となった。また西部は家具の種類に違いがあり、途中で移動する利用者の様子も見られた。

2008 年と 2018 年を比較すると図 4 のように当時はロビー 1 とロビー 2 が間仕切りで仕切られており、丸テーブルが無くテーブルが 2 つのみであった。2008 年の研究結果では、ロビーでの活動を主と

するより、併用型が多数見られる結果となっている。2018 年も併用型は見られたが、西部の平日はロビーのみを利用する単体型がロビー利用全体の約 9 割と高い結果が見られた。

2-3-2. けやきにおけるロビー内活動

多様な利用が見られたけやきの 2008 年の使われ方の例を図 6 に示す。小学生以下と学生がコミュニティルームとこどもルームでグループを形成しながらゲーム類で遊んでいる様子がわかった。次にコミュニティルームを見ると、高齢者が単独で利用している。この利用者は、コミュニティルームだけを長時間利用しており、受付にコーヒーやお茶を何度か頼みながら利用している様子が見られた。また、この場所は、柱の位置により小さな空間になっているため、単独で来館する利用者に好まれる傾向があることがわかった。そして、長時間学習室を利用している利用者は、コミュニティルームで休憩をしている様子がみられた。この利用者は自分で弁当を持ってきており、勉強の合間の休憩に短時間ながら何度かコミュニティルームに降りてきていた。そして、この時間ではテーブルの椅子は空いていたのだが、学生がグループを形成して利用していたのを敬遠してか、窓側の腰掛けベンチで昼食を食べていた。このような場面は調査中に 4 回ほど見られ、コミュニティルームの絶対的な空間の広さに対して、備え付けの大きなテーブル 2 つ並んでいることで、グループの境界を明確につけている様子が観察された。

2018 年の特徴的な場面を図 7 に示す。コミュニティルーム内では、学生 2 人が勉強している様子が見られ、この利用者たちは勉強の合間にここで昼食も取るなど長時間利用していた。このスペースは、窓側に向いていることから自分だけの空間を作りやすいことからか、1～2 人の少人数利用者かつ長時間利用する人に好まれて使用されていた。次に、学生のゲーム利用と小学生以下の飲食の様子が見られた。この 2 つのテーブルでは、他にも中高年複数人での話し合いなどグループでの活動が多く見られた。最後に、学生が合流している様子が見られた。このベンチスペースでは、単独での少しの休憩や待ち合わせなどで使用されていた。また、他の利用者がいない際には、ベンチに寝転がる様子も見られた。このスペースは、使用される回数は少ないが、ロビーの座席数の少なさを補っていると思われる。

2008 年と 2018 年を比較すると、ロビーの使われ方に関しては大きな違いは見られなかった。けやきはロビーであるコミュニティルームが独立しているため、単体型の利用が多く見られる傾向があった。

2-3-3. 吉祥寺北におけるロビー内活動

2008 年の特徴的な場面を図 8 に示す。10 分前まで同じ階の体育館と会議室コーナーで団体活動が行われていた。活動後、そのままロビーに移動して各々の活動を続ける併用型と、すぐに退館する単体型で動きに違いが見られた。グループ形成の様子を見ると、直前に活動していた場所寄りに席を位置取る傾向が見られたが、ロビーのみの利用者もその間に挟まれる形で点在していることがわかった。また、4 人がけのテーブルでは、活動・グループ共に多様な形態が見られ、バスケをやっていたグループが荷物置きとしてテーブルを動かしているように、テーブルを活動の規模に合わせる様子も確認された。

2018 年の場面を図 9 に表す。吉祥寺北は単体型併用型が半々ほどであった。ロビーのコーナーで、学生の勉強や成人の飲食・作業している様子が見られ、このエリアは単独で長時間利用する利用者

好まれていた。次にロビー中央でも主にロビー単体型が多く見られ、中高年の話し合いや囲碁将棋などの活動が見られた。そして、入り口付近では、小学生グループがコミセンで待ち合わせをしゲームを行う様子が見られた。また、活動内容を変更する際、場所を移動する様子も見られた。その他にもこのエリアは、ロビー併用型に多く利用されている傾向にあった。

2008 年 2018 年を比較すると、ロビー単体型・併用型は半々ほどという形で大きな違いは見られなかった。ロビーが広くテーブル数が多いコミセンであるため、テーブルを活動の規模に合わせる様子や活動内容によって移動をする様子が見られた。

3. 考察

1) 活動状況・活動方針

2008 年と 2018 年を比較すると、大きく状況が変化していたのは、和室であった。和室は高齢者には嫌厭されるが、子供を寝転がせることができるという点で子連れの利用者には好まれることから、和室洋室どちらの用途も補える空間が重要であることがわかった。

既往研究では、和室は小集会や講習会、母と子のふれあい教室など多様な用途に使用されているが、むしろ生花などは作業台や椅子が必要なことから和室が使われていないことが示されている^{注 6)}。本調査では、和室に机と椅子を設置した結果、利用率が上がるということが把握できた。あらゆる活動に対応できる工夫が求められていると同時に、活動内容を制限しないよう管理運営側からのソフト面の取り組みも重要だと考える。

2) 利用者属性・利用室・活動内容

F.S. は若年層から高年層まで幅広く利用され、活動内容も多種多様なものであった。2008 年と 2018 年を比較すると、F.S. の利用率が 1 割ほど上がっていることがわかり、自由に開かれた空間がさらに求められていることが把握できた。既往研究では、今日の公民館には、ロビー空間の利用を主目的に来館する住民が多く見られると示されている^{注 7)}。

3) 予約なしで利用できる室・ロビー空間の利用実態

西部コミセンにおいて間仕切りの有無から活動内容に大きく違いが見られたことや、柱によって空間を分けているなど、さらに備品のもたらす影響や建築自体がもたらす影響を把握することができた。既往研究では、空間内にあるパソコンやコピー機などの道具備品によって利用者の行為を誘発することが示されている^{注 8)}。ロビー自体の広さや形によって違いが出ていることも考えられるが、本調査結果からは、テーブルの大きさや数、そして位置などがもたらす影響も大きいと考える。

4. まとめ

同じ施設を対象に 2008 年と 2018 年に行った同一の調査により、10 年の間に利用者の属性や室の使われ方などに関して、多くの変化が見られた。変化していく利用者の活動に対応した可変性のある施設計画が重要であるといえよう。

今日 SNS が浸透し、オンライン上でのコミュニティも当たり前になってきている。しかし、リアルな場だからこそその交流は、オンラインでは得ることのできない相手からの影響力や帰属意識の醸成につながるのではないかと考える。実際に調査中に、ロビーにいる利

用者から「囲碁をやっている人が居そうだから来た」と聞き、予約を必要としないコミュニティ空間ならではの交流を見ることができた。こうした誰もが自由に使える場合は、コミュニティ活動を支え育てていく空間として、これからも変わらず重要であると考え。

謝辞

本調査にあたり、武蔵野市役所ならびに武蔵野市コミュニティ研究連絡会の方々には、多くのご協力をいただきました。ここに記して感謝の意を表します。

注

注 1) 参考文献 1), 2)

注 2) 参考文献 1) p30-39, 参考文献 2) p35-40, 参考文献 3) p13-14 に詳しい。

注 3) 参考文献 3), 4), 5), 6)

注 4) 参考文献 4) p4 に各個の「生活史の上でかわる施設は、そのライフサイクルとともに流動するため、新しい時代には新しい時代の施設が必要とされてくる。」と記載されている。

注 5) 平日休日ごとに、5 つの分析項目を用いて数量化Ⅲ類を行った。5 軸での累積寄与率は 6 日間平均で 2008 年は 41.2%、2018 年は 38.3% となった。次に数量化Ⅲ類で算出したサンプルスコアを用いて、ウォード法によるクラスター分析を行い、利用者類型をまとめた。

注 6) 参考文献 6) p113-114

注 7) 参考文献 9)

注 8) 参考文献 6), 9)

参考文献

- 1) 全国公民館連合会：全公連 35 年史，全国公民館連合会，1987. 7
- 2) 日本公民館学会学年報：公民館 60 年の歴史的総括と展望，日本公民館学会年報，2006. 11
- 3) 小林文人：三多摩の公民館づくり，建築知識第 25 巻 5 月号，1982, 5
- 4) 浅野平八：地域集会施設の計画と設計，理工学社，1995. 7
- 5) 日本公民館学会編：公民館・コミュニティ施設ハンドブック，エイデル研究所発行，2006. 3
- 6) 日本公民館学会編：公民館のデザイン，エイデル研究所発行，2010. 12
- 7) Tanaka, Y., et al.: AN INVESTIGATION STUDY ON THE SOCIAL DAY SPACE FOR THE INDEPENDENT ELDERLY PEOPLE -A case study on community centers in Tama City-(Transactions of AIJ), No. 562, pp. 165-172, 2002. 12 (in Japanese)
田中裕基，登張絵夢，上野淳，竹宮健司：自立高齢者の地域生活支援のあり方に関する研究－多摩市コミュニティセンター内の高齢者スペースにおけるケーススタディー，日本建築学会計画系論文集，第 562 号，165-172，2002. 12
- 8) Zhang, H., et al.: SENIOR CITIZENS' OPINION OF COMMUNITY CENTERS IN SENRI NEW TOWN AS THEIR USERS -A study on systematic preparation of community centers in new town-(Transactions of AIJ), No. 583, pp. 23-30, 2004. 9 (in Japanese)
張海燕，柏原士郎，吉村英祐，横田隆司，飯田匡，大野拓也：千里ニュータウンのコミュニティセンター に対する高齢者の利用意識－ニュータウンにおけるケーススタディー，日本建築学会計画系論文集，第 583 号，23-30，2004. 9
- 9) Kathumata, K. and Asano, H.: DEVELOPMENT PROCESS OF LOBBY SPACE IN COMMUNITY LEARNING CENTER (Transactions of AIJ), Vol. 76, No. 665, pp. 1231-1240, 2011. 7 (in Japanese)
勝又啓太，浅野平八：公民館建築におけるロビー空間の展開過程，日本建築学会計画系論文集，第 76 巻 第 665 号，1231-1240，2011. 7
- 10) 安井基浩，竹宮健司：武蔵野市コミュニティセンターの来歴と実態分析，日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1 分冊，p 483-484 2009. 7
- 11) 安井基浩，竹宮健司：コミュニティセンターの利用特性から見た空間構成に関する考察～武蔵野市におけるケーススタディー～ 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1 分冊，p 303-304, 2011. 7

[2020 年 6 月 2 日原稿受理 2020 年 7 月 29 日採用決定]